

小児病態と看護

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 川崎ゆかり ykr17@hoku-iryo-u.ac.jp 西基 太田亨(リハ) 木浪智佳子

【概要】

小児医療・小児保健の実際と今後の課題および子どもに特有な病態・症状・治療に関する基本的知識を系統的に学ぶ。

【学修目標】

1. 小児医療・小児保健の実際と今後の課題を理解し、子どもを取り巻く社会の現状を考えることができる。
2. 子どもに特有な病態・症状・治療に関する基本的知識を理解し、小児看護のあり方について考えることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 運動器疾患	講義の進め方、課題と評価方法の確認 小児骨折・發育性股関節形成不全・内反足・骨端症・骨肉腫など	川崎・西
2	成長・発達	小児の成長・身体計測・成長の評価・臓器の發育など	西
3	栄養・診察・治療	母乳栄養・人工栄養・誤飲・誤嚥・発熱・脱水症など	西
4	心臓・脈管疾患	胎児循環・心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症・ファロー四徴症など	西
5	悪性腫瘍・血液・造血器疾患	神経芽腫・腎芽腫・肝芽腫・網膜芽腫・鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血・血友病・白血病・悪性リンパ腫など	西
6	アレルギー性疾患・膠原病	アレルギー・気管支喘息・若年性特発性関節炎・全身性エリテマトーデス・リウマチ熱・川崎病など	西
7	感染症	ウイルス感染症(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘など)・細菌感染症(溶連菌感染症、百日咳など)・真菌感染症、結核など	西
8	新生児疾患	新生児とその疾患	太田
9	新生児疾患	新生児とその疾患 ・染色体異常・先天性奇形	太田
10	小児の腎疾患	ネフローゼ・糸球体腎炎など	太田
11	内分泌・先天性代謝異常	1型糖尿病・肥満・先天性代謝異常など	太田
12	小児神経・筋疾患	脳性麻痺・てんかん・筋ジストロフィーなど	太田
13	身体障害	身体障害の定義・分類 脳性麻痺・肢体不自由の特徴と支援	木浪
14	重症心身障害	重症心身障害の特徴と支援	木浪
15	発達障害 まとめ	発達障害の特徴と支援 障害児(者)と家族のための法律と資源 講義評価、他	木浪・川崎

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(筆記試験)100%により評価する。

【教科書】

1. 西基、他：『New Simple Step小児科』第2版 総合医学社
2. 西基：『コ・メディカル用語事典』丸善 (電子媒体、2年次前期に購入済)
3. 小林京子・高橋孝雄：『小児看護学 小児看護学概論/小児保健』第7版 メヂカルフレンド社
4. 小林京子・高橋孝雄：『小児看護学 健康障害をもつ小児の看護』第7版 メヂカルフレンド社

【備考】

- ・ 講義日時・講義室などの詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。
- ・ 出席は、出席サイン帳への署名またはG-formによる管理とする。

【学修の準備】

1. 講義は指定教科書および配付資料を使用するため、毎回持参すること。
2. 講義の初回で配付する講義日程を参考に、授業範囲について、教科書をあらかじめ読んでおくこと（30分）。
3. 授業後は、学習した内容の要点を復習すること（30分）。
4. 講義の時間内には、医師・看護師などの国家試験問題の演習を適宜行う。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2:看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1:人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【実務経験】

西基(日本専門医機構認定小児科専門医)

太田亨(医師)

川崎ゆかり(看護師)

木浪智佳子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を生かし、小児医療・保健の現場の状況に即した情報と知識を伝える。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している